

祝
平成28年度 一部開通



環状道路の形成が
更なる地域の発展へ



松阪多気バイパスの ストック効果

平成29年1月

国道42号 松阪多気バイパス整備効果検討会



三重県



松阪市



多気町



国土交通省

目次

概要

- 事業概要 P 1
- 位置図 P 2

渋滞緩和・踏切解消・交通安全

- 中心市街地の渋滞緩和が期待！ P 3
- 踏切による遮断が「ゼロ」に！ P 4
- 交通事故死者数全国ワースト上位からの脱却！ P 5

産業支援

- 企業の生産性向上を支援！ P 6
- 地域産業の更なる発展を支援！ P 7

観光支援

- 国内最大級滞在型複合施設へのアクセスを強化！ P 8

沿道開発

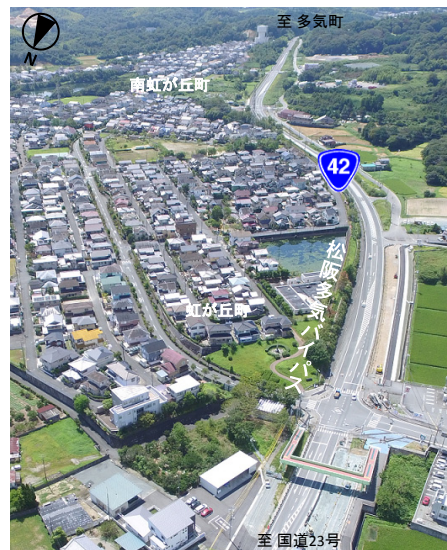
- バイパス整備と合わせてコンパクトシティが形成！ P 9
- 宅地開発が進み定住人口が増加！ P 10

事業概要

国道42号松阪多気バイパスは、松阪市街地の環状機能を併せ持ち、市街地の慢性的な交通渋滞の緩和を目的に計画された、三重県松阪市古井町から多気郡多気町仁田に至る延長11.9kmの幹線道路です。

これまでに、現道活用部分を含め、延長約10kmが暫定2車線で開通しており、平成28年度の松阪市上川町地区（延長0.8km）、平成29年度の松阪市下蛸路町から八太町間（延長1.1km）の開通により、全線が暫定2車線で繋がることとなります。

松阪多気バイパスがネットワークとして繋がることにより、渋滞・交通事故の減少はもとより、企業活動の生産性向上・沿道開発の促進など様々な整備効果が期待されます。



虹が丘1交差点付近から多気町方面を望む

◆計画の概要

事業区間：三重県松阪市古井町まつさかしこいちょう～多気郡多気町仁田たきぐんたきちょうにた

全体延長：11.9km

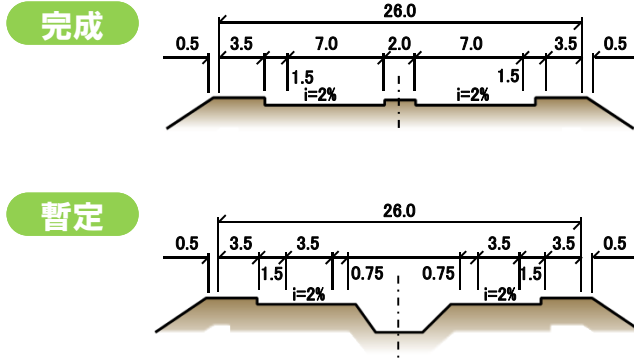
規格：3種1級

設計速度：80km/h

車線数：完成4車線（暫定2車線）

◆標準断面図

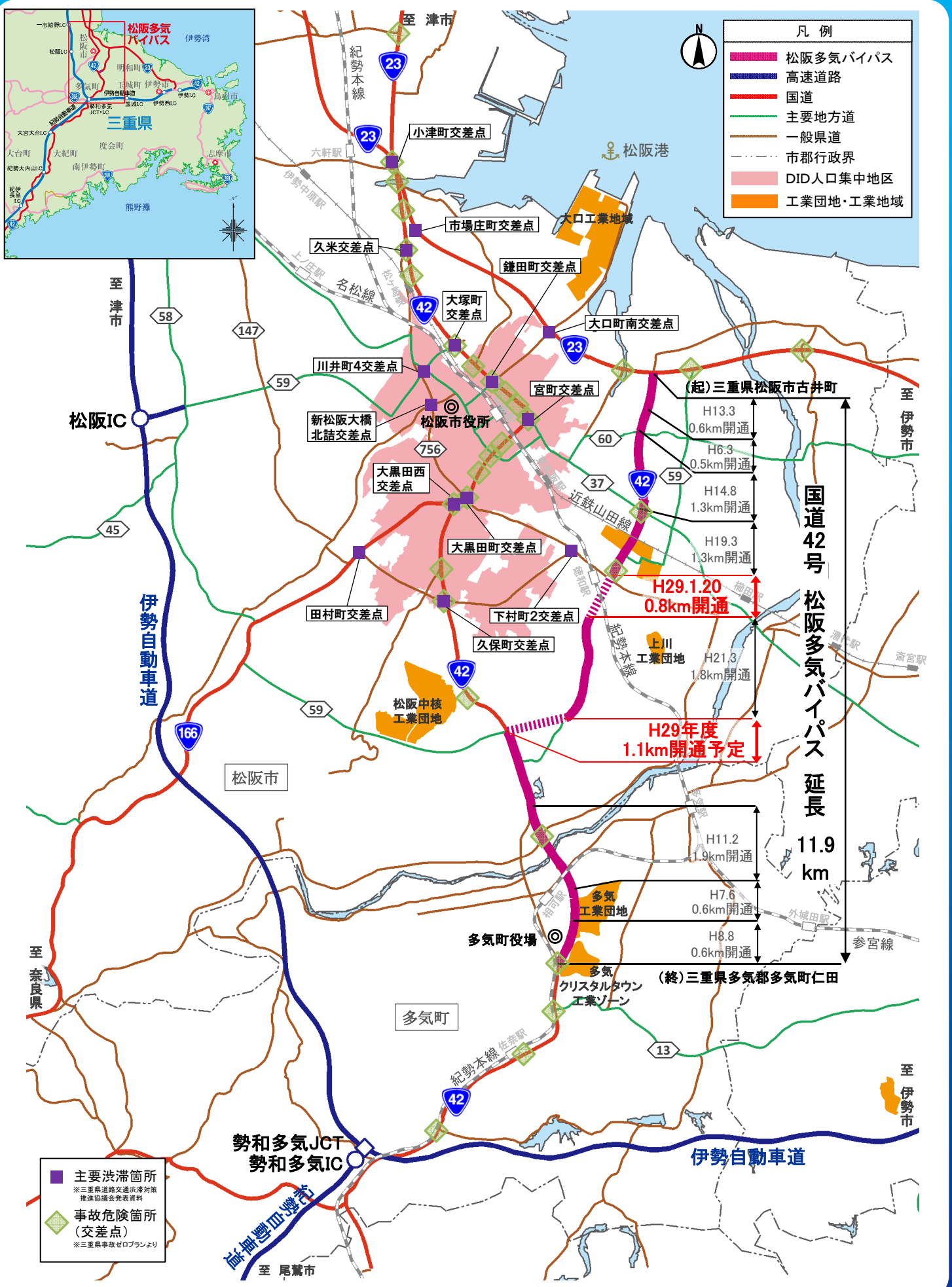
単位：m



◆松阪多気バイパスのあゆみ

昭和62年度	松阪市射和町～多気町仁田	事業化
平成元年度	松阪市古井町～松阪市射和町	事業化
平成10年度	松阪市射和町～多気町仁田間	全線開通〔延長3.1km〕
平成14年度	松阪市古井町(国道23号)～朝田町(県道37号)間	全線開通〔延長2.4km〕
平成18年度	松阪市朝田町(県道37号)～上川町	開通〔延長1.3km〕
平成20年度	松阪市虹が丘町～下蛸路町	開通〔延長1.8km〕
平成28年度	松阪市上川町～虹が丘町	開通〔延長0.8km〕
平成29年度	松阪市下蛸路町～八太町	開通予定〔延長1.1km〕※全線暫定2車線で開通

位置図



平成28年度 一部開通 祝



国道42号 宮町交差点

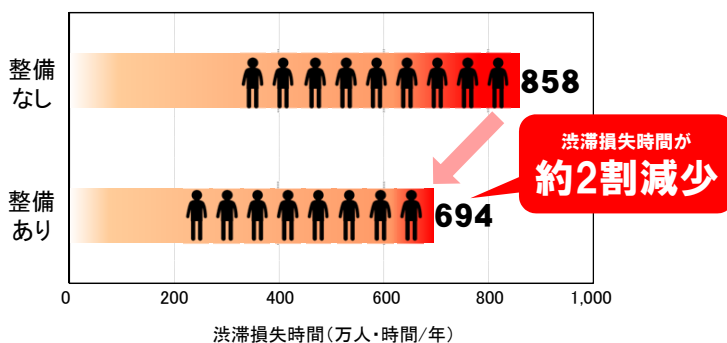
中心市街地の渋滞緩和が期待!

- ❖ 松阪市を通過する交通の約8割が、国道42号・県道756号松阪環状線を走行することにより、松阪中心市街地では慢性的な渋滞が発生。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備により環状機能が強化され、松阪中心市街地における渋滞損失時間が約2割減少。
- ❖ 松阪多気バイパスは国道42号と比較し、信号交差点数が約6割と少なく、スムーズな走行が可能に。

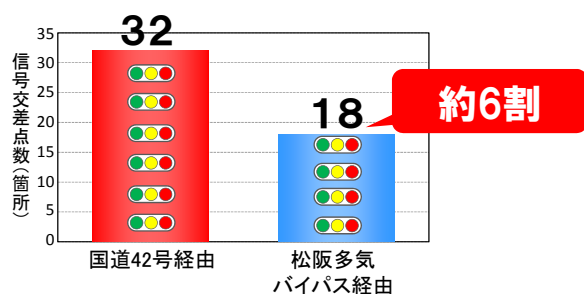


※ ETC2.0プローブ情報を紀勢国道事務所にて分析(H28.4)

松阪多気バイパス整備による渋滞損失時間の変化



小津町交差点から八太町北交差点までの信号交差点数の比較



踏切による遮断が「ゼロ」に！



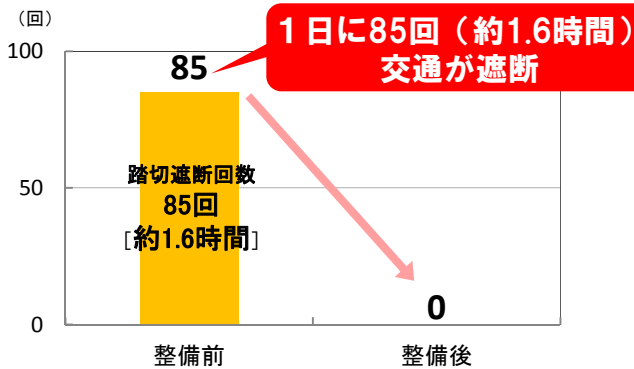
県道59号とJR紀勢本線 第三高田踏切

- ❖ 建設中の松阪多気バイパスと並行する県道59号松阪第2環状線は、JR紀勢本線の踏切により、1日に85回(約1.6時間)交通が遮断。
- ❖ 踏切の遮断による車両の滞留長は1日に延べ約9kmにも及び、通勤や物流に支障。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備によりJR紀勢本線と立体交差となることで、踏切による遮断が「ゼロ」となり、円滑な交通が実現。

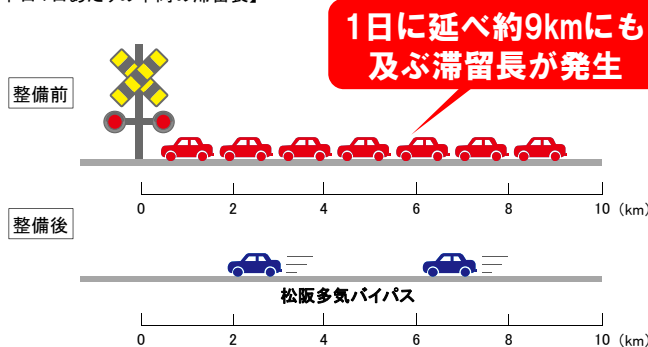


松阪多気バイパス整備による踏切遮断回数・滞留長の変化

【平日1日あたりの踏切遮断回数】



【平日1日あたりの車両の滞留長】



交通事故死者数 全国ワースト上位からの脱却！

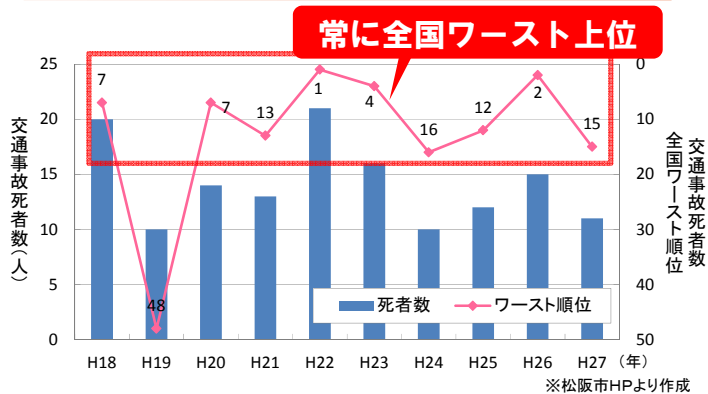


国道42号 鎌田町付近

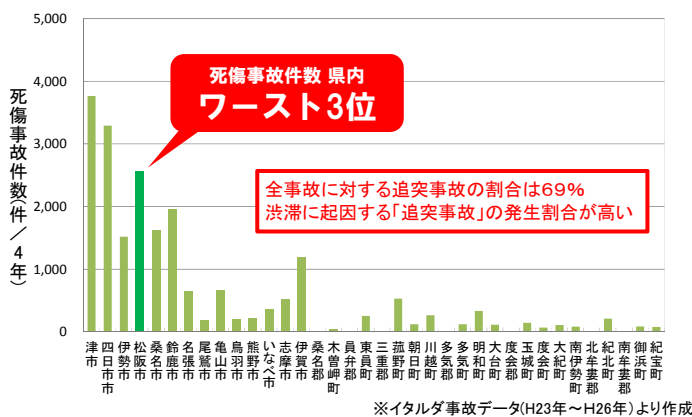
- ❖ 松阪市は全国主要都市※1の人口10万人当たりの交通事故死者数が常にワースト上位に位置し、死傷事故件数も県内ワースト3位。※1:人口10万人以上の269都市
- ❖ 通過交通が松阪多気バイパスへ転換することにより、松阪中心市街地における交通事故件数が約1割減少し、全国ワースト上位からの脱却が期待。



松阪市における交通事故死者数と全国ワースト順位



三重県における死傷事故件数のワースト順位

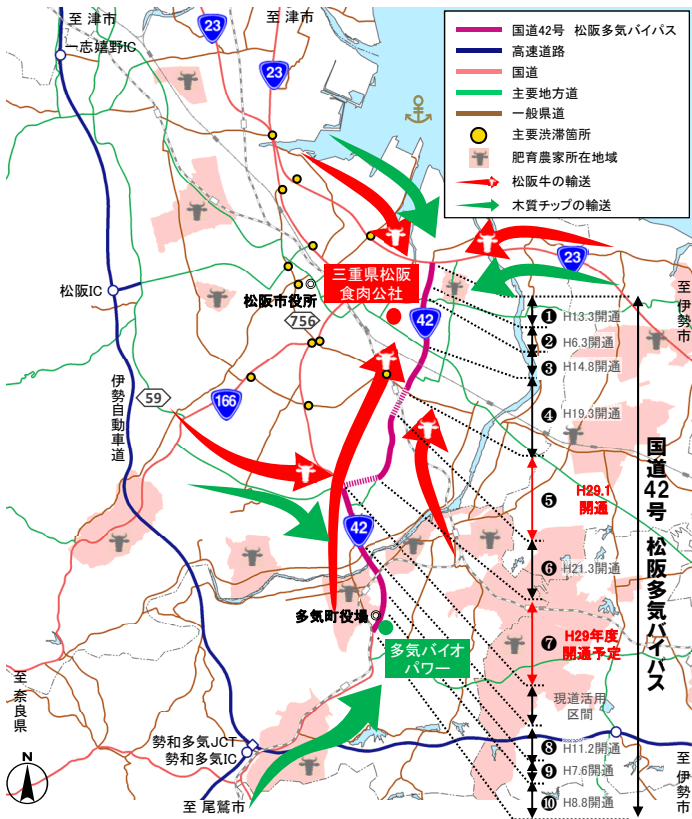


地域産業の更なる発展を支援！



(株)三重県松阪食肉公社

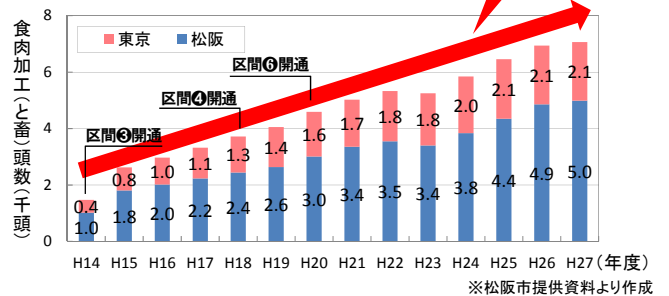
- ❖ 日本3大和牛である「松阪牛」の食肉加工(と畜)頭数は年々増加し、13年で約5倍に増加。三重県松阪食肉公社には、年間7千頭以上の成牛が周辺の肥育農家から集められ、そのうち約7割は、松阪市で食肉へ加工。
- ❖ 平成28年6月に運転を開始した木質バイオマス発電所「多気バイオパワー」では、燃料である木質チップが三重県内をはじめ、近隣県から週5日間、10t車で20台/日以上運び込まれ、年間約5千万kWhを発電。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備により、松阪中心市街地を迂回する安定的な物流ネットワークが形成され、地域産業の更なる発展を支援。



※肥育農家所在地域は松阪市提供資料を基に紀勢国道事務所にて作成
 ※農家が所在する町字名を着色

松阪牛の食肉加工(と畜)頭数の推移と食肉加工場所

松阪牛の食肉加工頭数は
13年で約5倍



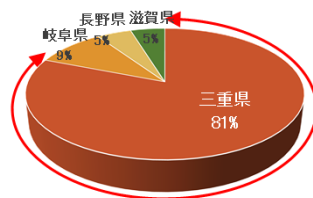
木質チップの輸送から発電までの流れ

木質チップ



10t車 × 20~25台/日

【木質チップ輸送量の割合】



多気町世帯数の
年間使用電力の
約2倍を発電

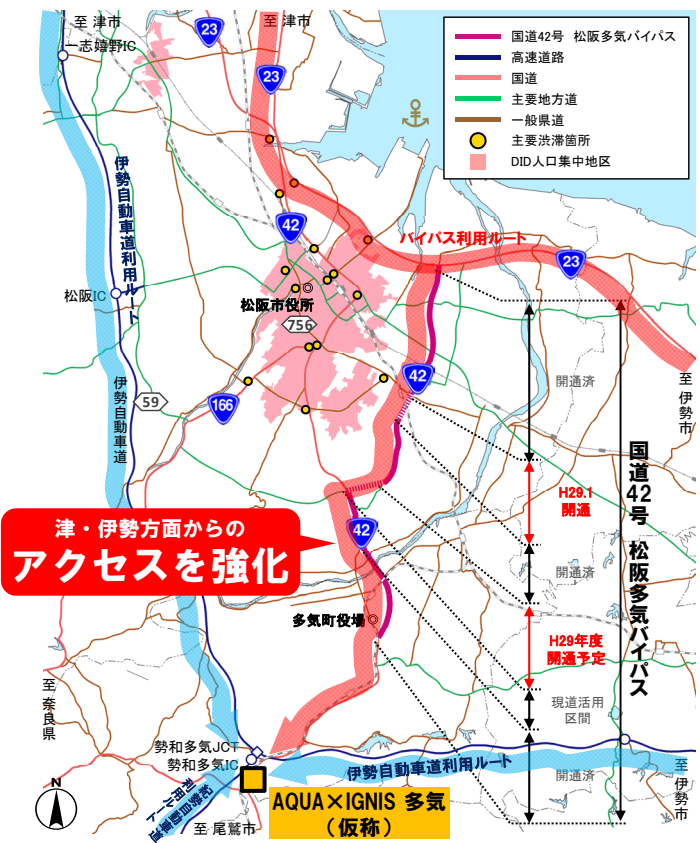
※紀勢国道事務所ヒアリング調査より作成

国内最大級滞在型 複合施設へのアクセスを強化！

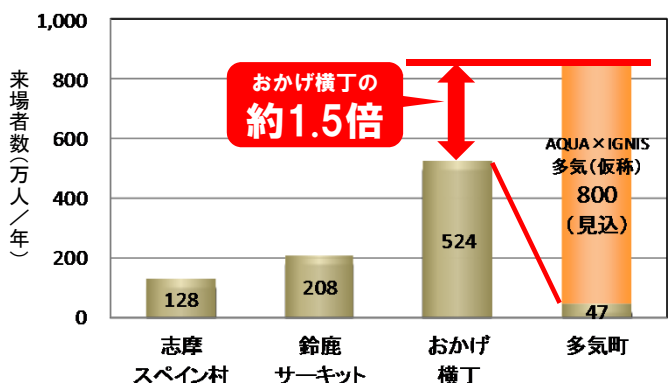


AQUA x IGNIS (菟野町)

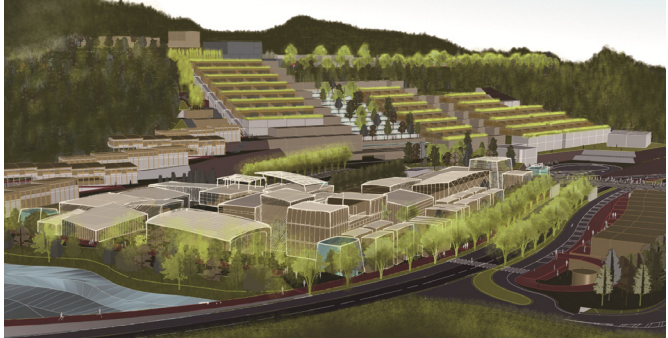
- ❖ 平成31年春、多気町に国内最大級の滞在型複合施設「AQUA x IGNIS 多気(仮称)」が開業予定。
- ❖ 松阪多気バイパスの整備により、年間800万人もの来場者が見込まれるAQUA x IGNIS 多気(仮称)へのアクセスルートが強化されることで、スムーズな来場と地域活性化を支援。



近隣観光施設との来場者数比較



※H27年観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書より作成
※AQUA x IGNIS 多気(仮称)の来場者数はH27.9.25「AQUA x IGNIS 多気(仮称)」説明会資料より作成



AQUA x IGNIS 多気(仮称) イメージ図
※(株)アクアイグニス提供

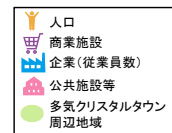
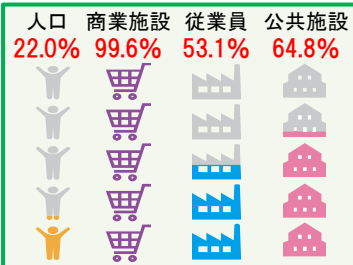
バイパス整備と合わせて コンパクトシティが形成！



- ❖ 松阪多気バイパスの整備と合わせ、多気町では「住居、商業、工業、公共施設等」が集積したコンパクトシティがバイパス沿道に形成され、町の面積の約6%の地域に人や施設が集積。
- ❖ 松阪多気バイパス沿道には企業が多数進出するとともに、新たに工業ゾーンの分譲も開始されるなど、今後も更なる企業進出や街の発展が期待。

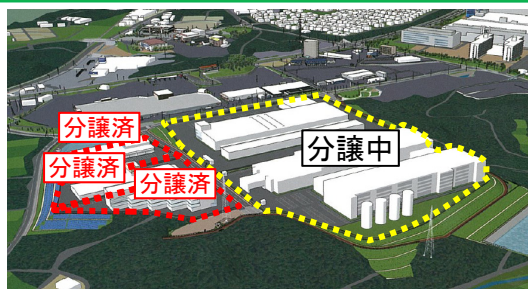
多気クリスタルタウン周辺地域における集積状況

多気町の面積の約6%に集積



※多気クリスタルタウン周辺地域: 多気クリスタルタウンを含む松阪多気バイパス沿道の多気町相可・仁田周辺地域
人口: 平成22年国勢調査より作成
商業施設: 多気町内のスーパーマーケットの敷地面積を紀勢国道事務所にて算出
企業(従業員): 平成24年経済センサスより作成
公共施設等: 国土数値情報 都市地域土地利用細分メッシュ(平成26年度)より作成

多気クリスタルタウン工業ゾーン開発イメージ



整備前



整備後



出典: 国土地理院空中写真

出典: 多気町HP

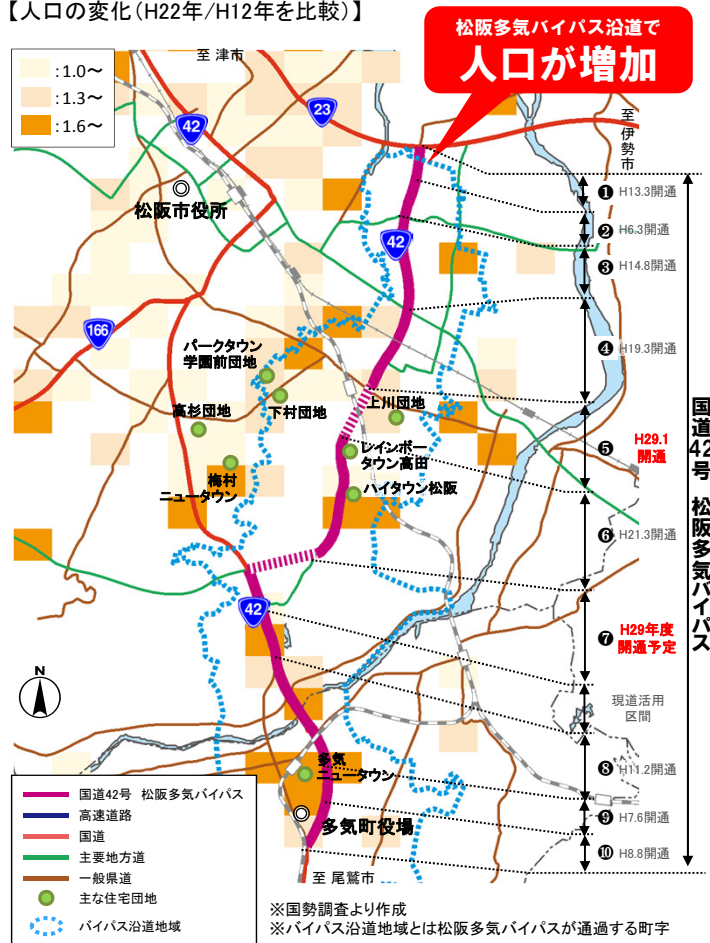
宅地開発が進み 定住人口が増加！



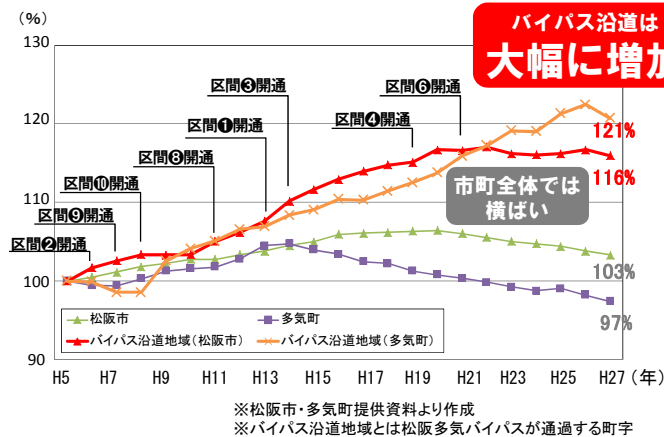
松阪市 虹が丘町

- ❖ 松阪多気バイパス沿道では宅地開発が進み、松阪市では116%、多気町では121%と沿道地域の人口が大幅に増加。
- ❖ 多気町では、転入者数が転出者数を上回るなど、松阪多気バイパスの全線開通後も更なる人口増加が期待。

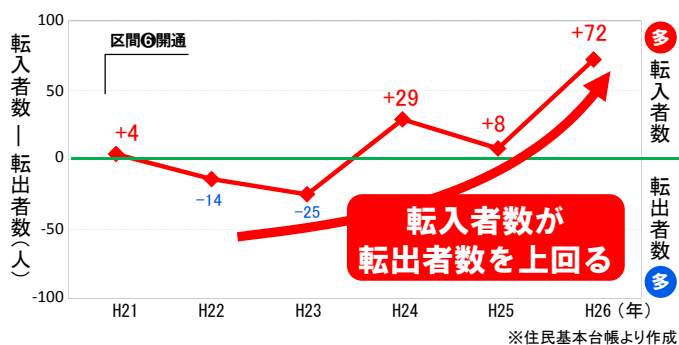
【人口の変化(H22年/H12年を比較)】



松阪多気バイパス沿道地域*の人口の推移



多気町の転入・転出者数の推移





H29年度開通予定区間（松阪市下蛸路町）

国道42号 松阪多気バイパス整備効果検討会



三重県



松阪市



多気町



国土交通省